第2回 豊田市「水素社会の未来を語る」シンポジウム
―クルマ・工場・まちで進む社会実装―

2026年12月10日(木)14:30~17:00
（受付14:00~）

参加費 **無料**
会場定員 **200名**
（オンライン同時開催）

会場

豊田産業文化センター　小ホール
〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町１丁目25

スケジュール・講演内容

14:30～14:35	開会挨拶　（豊田市長　太田稔彦）
14:40～15:05	**講演①** **『水素・アンモニア政策の現在地と今後の展望』** 資源エネルギー庁 水素・アンモニア課 課長補佐 奥村滉太郎 氏
15:10～15:35	**講演②** **『水素を含めた３電池連携とサービス』** パナソニック エレクトリックワークス株式会社　谷紀子 氏
15:35～15:45	休憩
15:45～16:35	**講演③** **『水素エネルギーの将来展開と中部地域への期待』** 九州大学　主幹教授　佐々木一成 氏
16:40～17:00	全体総括・閉会挨拶　（愛知工業大学 教授 近藤元博）

登壇者

九州大学 運営方針委員・サステナブル水素研究所 主幹教授

佐々木 一成 氏

水素・燃料電池の材料・プロセス研究を基盤に、燃料電池から水電解、エネルギーシステムまで幅広く研究を展開。2026年4月に設立された九州大学「サステナブル水素研究所」では、水素の製造・輸送・貯蔵・利用をつなぐ研究体制のもと、水素利活用分野を牽引し、持続可能な水素エネルギー社会の実現に向けた研究・実装を推進。

経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 水素・アンモニア課 課長補佐

奥村 滉太郎 氏

2015年経済産業省入省。福島復興、地方創生、新型コロナ対応、DX推進等に従事。2023年にフィンランド・アアルト大学へ留学しIDBMを専攻。帰国後は内閣官房で国会・官邸業務を担当。2026年1月より資源エネルギー庁水素・アンモニア課総括補佐として、水素・アンモニアの市場形成や需要創出、企画立案に携わる。

パナソニック エレクトリックワークス株式会社 ソリューションエンジニアリング本部 主幹

谷 紀子 氏

パナソニックエレクトリックワークス社にて、水素を活用したエネルギーソリューションの事業推進に従事。純水素型燃料電池・太陽電池・蓄電池を組み合わせた分散型エネルギーシステムの実証や、水素サプライチェーンの構築、海外展開を推進。

愛知工業大学 教授

近藤元博

名古屋大学大学院修了後、トヨタ自動車で国内外の資源・エネルギー問題を担当。愛知工業大学総合技術研究所教授として燃料電池・水素など脱炭素エネルギーの研究と産学連携を推進。

主催 豊田市 Toyota City / AIT愛知工業大学

共催 iZEC ゼロカーボンを進める産学行政コラボレーション あいちゼロカーボン推進協議会

後援 愛知県 Aichi Prefectural Government / 経済産業省 中部経済産業局 Chubu Bureau of Economy, Trade and Industry / 環境省 中部環境局

こちらのリンク・二次元コードよりお申込みください
https://forms.cloud.microsoft/r/hS6gekADAw
※申込期限：2026年12月8日（火）12:00まで

運営元 問合せ先　株式会社ドリームインキュベータ　水素セミナー担当
h2-sympo@dreamincubator.co.jp